

## 「聞く」と「聴く」で違い！

口に出して話すと同じでも異なる漢字を使う言葉はいろいろあります。

例えば、「聞く」と「聴く」もその一つで、使い方、意味が少し違います。

「聞く」は、自然と耳に入ってくる事を表します。

お店のBGMや周りの人の声などです。

何かをしながらでも耳に入ってきて、右から左へと流れるような感じですね。

「聴く」は、注意して耳を傾けることを表し、例えば、近くでサイレンの音がしたら、どこから聞こえてくるのか、何の音が注意して耳を傾けますよね。

また、「傾聴」という言葉もあるように、相手の話に耳を傾ける場合には、「聞く」よりも「聴く」という事が大切なのです。

子どもは忙しい時に限って、いろいろと話しかけてくる事がありますよね。

そんな時に、「ふーん」と生返事で聞き流したり、「あとでね」と後回しにしているませんか。

こんな時こそ、少し手を休めて身体ごと、子どもと向きあって下さい。

目を合わせ、子どもの話に耳を傾ける事によって、子ども達は心が満足するのです。

にこやかに、子どもの話に相槌を打つ事も、子どもからすれば話していてとても安心感が生まれます。

また子ども自身の自己肯定感を高め、親との信頼関係も深まると言われています。

ちょっとした事で、子ども達自身の人のお話を聴く姿勢も変わってくると思いますよ。